

公共事業環境配慮書(案)

農政部 農地整備課

<b>事業名称</b>		
事業名	県営農村地域防災減災事業	
整理番号	31-5	
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	松本市	
箇所名	松本市大字岡田	
事業年度	平成30年度～平成33年度	
<b>事業概要</b>		
目的	平成25年度に実施した耐震性点検の結果、堤体上流側法面及び下流側法面の安全性が確保されていないことが確認されたため、本事業により耐震対策を実施し、地域住民の安全・安心と農業用水の安定確保を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	ため池 N=1箇所 押え盛土工 L=135m	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
<b>関係法令等の規制</b>		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 都市計画法の市街化調整区域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	
その他	なし	
<b>社会的要素</b> <span style="float: right;">留意すべき地域の概況</span>		
交通の現況	事業区域の北東側に国道143号及び国道254号線が位置する	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	周辺に住居はない	
その他	特になし	
<b>自然的環境要素</b> <span style="float: right;">環境配慮の方針</span>		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
<b>【騒音・振動の防止】</b>		
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。		
<b>【悪臭の防止】</b>		
・想定される影響はない。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	<b>【水質汚濁の防止】</b>	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・地盤改良を行う場合は適切な固化材を選定し、必要最低限の添加量範囲とする。	
<b>【水循環の保全】</b>		
上流からの流入水は仮廻しを行い、受益地への用水を確保する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である 砂岩である
	<b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b>	
	・想定される影響はない。	
	<b>【改変面積の最小化】</b>	
・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。		
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	松本市田園環境整備マスタープランにおける環境配慮区間である。 平成28年10月に環境配慮対策についての打ち合わせを行った。 ヘラブナの生息地である。	
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】		
	・工事影響範囲内に希少植物が確認された場合は、必要に応じて保全処置を行う。		
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】		
	工事着手前にヘラブナの生息を確認し、生息適地へ移動する。		
	【動物の繁殖期における影響の低減】		
	・想定される影響はない。		
景観	留意すべき地域の概況	湖沼景観を形成している	
	【すぐれた景観の保全】		
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。		
	【良好な景観の育成】		
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。		
	自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	付近に農村公園がある
		【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。			
【自然とのふれあい空間の創出】			
・想定される影響はない。			
文化財等		留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
		【文化財等への配慮】	
	・詳細設計後、松本市教育委員会と調整する。		
廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】		
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。		
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】		
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。		
	【資源の有効利用】		
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】		
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。		
	・アイドルリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。		
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		
	【エネルギーの有効利用】		
	・想定される影響はない。		
	日照障害・ 電波障害・ 光害	【日照障害への配慮】	
・想定される影響はない			
【電波障害への配慮】			
・想定される影響はない			
【光害への配慮】			
・想定される影響はない			